【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2006-186875(P2006-186875A)
【公開日】平成18年7月13日(2006.7.13)
【年通号数】公開・登録公報2006-027
【出願番号】特願2004-380605(P2004-380605)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　1/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/173　６３０
Ｈ０４Ｂ　1/16　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月24日(2006.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項６】
前記切替部が出力モードを第２の出力モードから第１の出力モードに切り替えた直後は、前記復号部は、前記第２の記憶部に記憶されている圧縮映像データを利用して前記第１の画面に出力すべき原映像データを再生することを特徴とする、請求項５記載の携帯型デジタル放送受信装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１４】
前記切替ステップが出力モードを第２の出力モードから第１の出力モードに切り替えた直後は、前記復号ステップは、前記第２の記憶部に記憶されている圧縮映像データを利用して前記第１の画面に出力すべき原映像データを再生することを特徴とする、請求項１３記載のデジタル放送受信方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
図９は、従来の据え置き型のデジタル放送受信装置の構成から想定される携帯型デジタル放送受信装置の構成を示した図である。図９に示す携帯型デジタル放送受信装置９００は、アンテナ９０１と、復調手段９０２と、トランスポートデコーダ手段９０３と、操作手段９０４と、開閉検出手段９０５と、音声復号手段９０６と、音声出力手段９０７と、映像復号手段９０８と、親画面映像出力手段９０９と、子画面映像出力手段９１０と、制御手段９１１とで構成される。図９において、アンテナ９０１は、放送局から送信されるデジタル放送電波を受ける。復調手段９０２は、ユーザが指定したチャンネルの放送電波

に同期し、受けた電波を復調し、音声と映像の圧縮多重データであるトランスポートストリームを取得する。トランスポートデコーダ手段９０３は、復調手段９０２が取得したトランスポートストリームから音声圧縮データである音声ストリームと、映像圧縮データである映像ストリームとを分離する。操作手段９０４は、ユーザが本装置に指示を与えるためのインターフェースである。ユーザが与える指示としては、例えば電源のＯｎ／Ｏｆｆや、受信チャンネルの指定等が考えられる。開閉検出手段９０５は、本装置が親画面映像出力手段９０９を内包した折り畳みが可能な装置の場合、当該親画面映像出力手段９０９の開閉状態を検出する。例えば、筐体の折り畳みのマイクロスイッチ等が開閉検出手段９０５に相当する。音声復号手段９０６は、音声ストリームを復号し、原音声データを得る。映像復号手段９０８は、映像ストリームを復号し、原映像データを得る。音声出力手段９０７は、原音声データを出力する。スピーカー、ヘッドホン出力ジャック等がこれにあたる。親画面映像出力手段９０９は、装置を折り畳むことで装置に内包できるように取り付けられ、復号された原映像データを出力する。２インチ以上のＱＶＧＡサイズの映像出力が可能な液晶ディスプレイ等がこれにあたる。子画面映像出力手段９１０は、親画面映像出力手段より画面サイズが小さく、親画面映像出力手段の背面に取り付けられる。１インチ前後の大きさで、解像度も親画面より低い液晶ディスプレイ等がこれにあたる。制御手段９１１は、携帯型デジタル放送受信装置９００の様々な処理を制御する。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】

上記のような構成において、携帯型デジタル放送受信装置９００が開いているときは、親画面映像出力手段９０９に、デジタル放送の番組が表示される。一方、携帯型デジタル放送受信装置９００が折り畳まれると、開閉検出手段９０５が、折り畳んだことを検出する。そして、制御手段９１１は、復調手段９０２、トランスポートデコーダ手段９０３、映像復号手段９０８、親画面映像出力手段９０９の動作を停止させる。すなわち、トランスポートストリームの多重分離、映像ストリームの復号、親画面映像出力手段９０９への映像出力を止める。これにより、携帯型デジタル放送受信装置９００の省電力化を図っている。このとき、子画面映像出力手段９１０には、携帯型デジタル放送受信装置９００の制御情報が表示される。また、携帯型デジタル放送受信装置９００が、折り畳み式で無い場合でも、操作手段９０４として親画面の液晶表示のＯＮ／ＯＦＦ切り替えスイッチが用意され、親画面の液晶表示がＯＦＦの場合に、上記と同様な処理を行う。

【特許文献１】特開２００３－８７３６９号公報